



2024 年度 活動報告書



Asian Women's Empowerment Project

特定非営利活動法人 アジア女性自立プロジェクト

内容

支援者のみなさまへ	3
I 全体概要	4
II 活動の詳細	5
1 海外事業	5
2 国内事業	10
3 組織運営全般	16
III 活動の実施体制	19
1 意思決定と実務の体制	19
2 支援者のみなさま	19



支援者のみなさまへ

AWEP は、2024 年、設立されてから 30 年が経過しました。

この間、数えきれないほど多くの方にご支援いただきました。まことにありがとうございます。

昨年は、ネパール、フィリピン、台湾、日本を結んで、フェアトレードの生産者の方々やボランティア、支援者の方々と、オンラインではありますが対話することができました。このミーティングは、私たちがこの 10 年唱えてきた「アジアの女性と手をつなぐ」をまさに感じた時間でもあったと思います。国籍、文化、志向、性別、年代、さまざまな要素で分断されがちな社会ですが、ともに手を携えて共通する課題に取り組んでいく重要性を忘れずにいたいです。

財務状況は、決算案をみると、昨年度と同様に全体としてバランスの取れた収支内容になっていると思われます。昨年度と比べると、収入・支出とも約 34%増加しました。中身としては、国内事業が海外事業の約 6 倍となっており、国内事業シフトが収支にも表れています。また、支援的財源はおよそ 55%（助成金含め）、事業的財源が約 45%となっており、昨年度課題だった支援的財源寄りから、事業的財源ともバランスが取れています。

運営面については、2024 年度も多くのボランティアに支えられたおかげで、非常勤スタッフ 3 名の体制で事業を進めました。ボランティアの総活動時間は、昨年度よりも若干減りましたが、新たにフィリピン出身のボランティアを迎えたり、台湾から中期インターンを迎えたりし、コンパクトな事業体ながらも生き生きとした雰囲気でも活動できました。

設立 31 年目以降をどう歩むか。

活動してくださる仲間や支援者の方々とともに悩み、考えて進んでいきたいと思えます。

代表理事 奈良雅美

I 全体概要

2024 年度は下記の活動方針を立てて事業を実施してきました。今後の社会変化を見据え、ニーズにあった事業を展開できる体制づくりを意識して活動を進めます。

海外事業では、

- ネパール、タイの製品を中心に発注継続
- 登録店舗の新規開拓とともに登録店舗の卸に注力
- 登録店舗、生産者との関係づくり

国内事業では

- 相談事業の強化：おしゃべりのつどいをさらに参加しやすい仕組みに工夫。メンタルヘルスケアの継続。
- 情報発信：発信体制の強化と発信媒体の見直し。学生などボランティアを積極的に受け入れ、よりよい発信をする仕組みを作る。

組織運営においては、

- 設立 30 周年記念事業の実施
- ボランティア・スタッフの仕事と活動環境の充実

成果と課題のポイント

【海外事業】

成果

ネパール・MKS ハンディクラフトへの発注
タイ・バーントーファンへの発注
フィリピン・ランパラハウスの生産再開支援と発注
オンラインイベントを通じた生産者とのつながりづくり

課題

- 登録店舗の 2 店減少（閉店に伴う）
- 売上の低調

【国内事業】

成果と課題

- おしゃべりのつどいを継続して開催。参加を促すための特別企画も複数回実施。
- メンタルヘルス支援として、専門家を招いてのセミナーを 2 回実施。
- あんしんつうしんインターネットラジオ（YouTube）を月 1 回ペースで配信。
- 昨年度発行した「外国人女性のための役だつインフォメーション」のタガログ語版を発行。

Ⅱ 活動の詳細

1 海外事業

売上は昨年度と比較して微減（1万円減）の41,0791円。非常に厳しい状態が続く。製品発注は絵円安の影響もあり175,830円と増加している。

（1）フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動

① フェアトレード生産者のエンパワメント

【生産者の状況】

各団体の状況は次の通り。

- **フィリピン・ランバラハウス**：リーダーのマリッサさんが生産再開。マルチケース（前回オーダー分残り）、鍋敷き30点、エコバッグ30点、トートバッグ20点を発注。体調に無理ない範囲で生産に従事している。（下記の写真は出荷前）



- **タイ・バーントーファン**：定番のめがねケース40点、ペンケース50点、カードケース（ふたつき）50点、コインケース20点を発注、入荷した。
- **ネパール・MKS ハンディクラフト**：ペットボトルホルダー20点、キーホルダー3種類59点、プレスレット20点を発注し、入荷した。



【発注実績】

生産者団体	発注内容
ランパラハウス/フィリピン	マルチケース（前回オーダー分残り）、鍋敷き 30 点、エコバッグ 30 点、トートバッグ 20 点（入荷待ち）
バーントーファン/タイ	めがねケース 40 点、ペンケース 50 点、カードケース（ふたつき）50 点、コインケース 20 点（入荷済み）
MKS ハンディクラフト/ネパール	ペットボトルホルダー 20 点、キーホルダー 59 点、ブレスレット 20 点（入荷済み）

生産者・登録店舗との関係づくり～設立 30 周年記念ミーティングから～

11 月 17 日に創立 30 周年記念イベントとして、ネパールの MKS ハンディクラフト、フィリピンのランパラハウスと日本を結んで、オンラインのミーティングを開催した。

日本の会場から、会員やボランティアなど 7 名、台湾から元インターンが 1 名、フィリピンから生産者グループランパラハウスのマリッサさんと、留学中のボランティアが 1 名、ネパール MKS ハンディクラフトから、代表



の佳代子さんとスタッフ合わせて 5 名、加えてビデオメッセージで MKS から 2 名、同じくビデオメッセージでタイのバーントーファンから 2 名が参加した。

【MKS ハンディクラフトの佳代子さんからのお話】

2012 年にカトマンズで店舗を開業し、プレスレットやキーホルダーを販売開始したが、2014 年、AWEP と出会い、シャクティサムハやアーシャネパールなど人身売買被害者や暴力被害女性を支援する NGO と協力し、雇用機会を提供。制作経験のない女性も多く苦労を重ねたが、現在では 11 名のスタッフが働くまで成長した。

ネパール大地震やコロナ禍などの困難を経て、オンライン販売を導入した。物価高騰による材料費の上昇に直面し、商品の質を維持しながら価格設定に苦悩しており、今後も質を保ちながらオンライン販売を拡大し、支援を求めつつ活動を継続予定である。

【スタッフのみなさんのお話】

MKS ハンディクラフトで 11 年間勤務。妹を大学に行かせるために仕事を続けています。初めは未経験で不安でしたが、現在は様々な製品を作れるまで成長しました。将来もこの仕事を続けたいと考えています。(PU さん)

2 年前に MKS で働き始めました。最初は難しかったが、現在は自信を持って製品を作れるようになり、家でも作業を行っています。母親を支えていきたいので、この仕事で頑張っていきたい。(MU さん)

MKS で働き始めて 3 か月。ものづくりに興味があり、現在は基本的な技術を習得しました。将来、自分の工場を持ち、子どもたちを支援することを夢見ています。仲間と支え合いながら楽しく仕事をしています。(BU さん)

水牛の骨製品を作る工場で 4 年間勤務。最初は難しかったですが、現在は熟練し、夫と一緒に仕事を続けています。将来は家を建てることを目標としています。製品注文を待っています。(MO さん)

(ビデオメッセージで) 私は MKS で働き始めて 1 年ほどになります。楽しく働けてうれしく思っています。お客さんからの注文があるととても嬉しいです。(AN さん)

(ビデオメッセージで) 働き始めて 2 年半になります。ここで働けることはうれしいです。いつも支援をありがとうございます。(RI さん)

【感想】



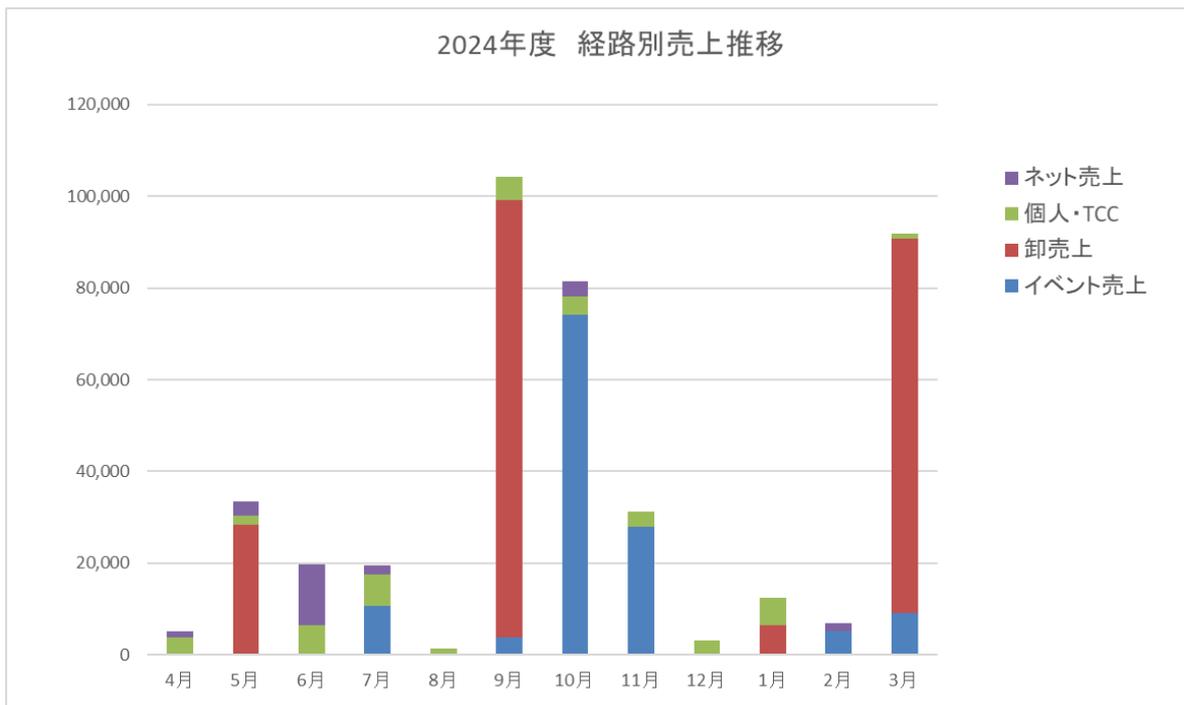
「国際的な交流と多様な文化・課題への理解を深めた。と同時に、ネパールの製品に触れる機会を通じて支援の重要性を再認識。国際的なつながりを深める機会になったとマリッサさん。MKS からはぜひネパールを訪問してとのメッセージがあった。



② 国内販売

売上高は昨年度と同程度に留まった。ネット通販は、Sooooos.は閉鎖されたため、BASE のみでの販売となったことも売上にマイナスの影響となった。

イベントでの売り上げは、130,699 円、卸売りでは、211,932 円、ネット通販 25,220 円、その他は 42,780 円。



【卸売り】

2024 年度は新規登録店舗はなかった。長年取引のあった 2 店舗（エスパーロ能勢さま、るまばぐーすさま）が閉店し、登録店舗全体としては減少した。（現在登録店舗数は 23）



卸売り金額の上位3店舗は、ビーンズアクトさま（65,956円）、顔の見える店～FairTrade 風"sさま（29,568円）、Happy Women's Map & Daysさま（27,489円）であった。ビーンズアクトさまでは、期間イベントを実施していただき、生地そのものと製品が販売された。

また、単発イベントの卸販売は常盤女子高等学校で、同校の生徒のみなさんが4回に渡り、学内等での催しで販売された。（計62,592円）

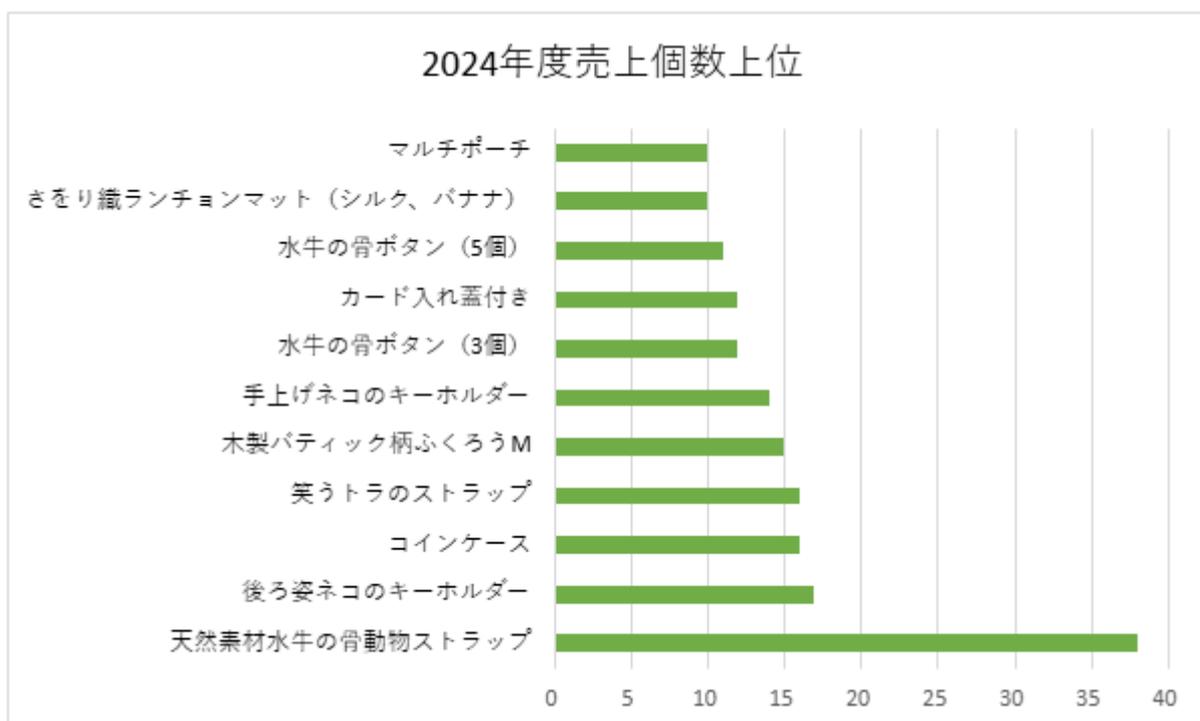
【イベント販売】

イベント販売は1回であった。

- 3/3 ユニセフのつどい

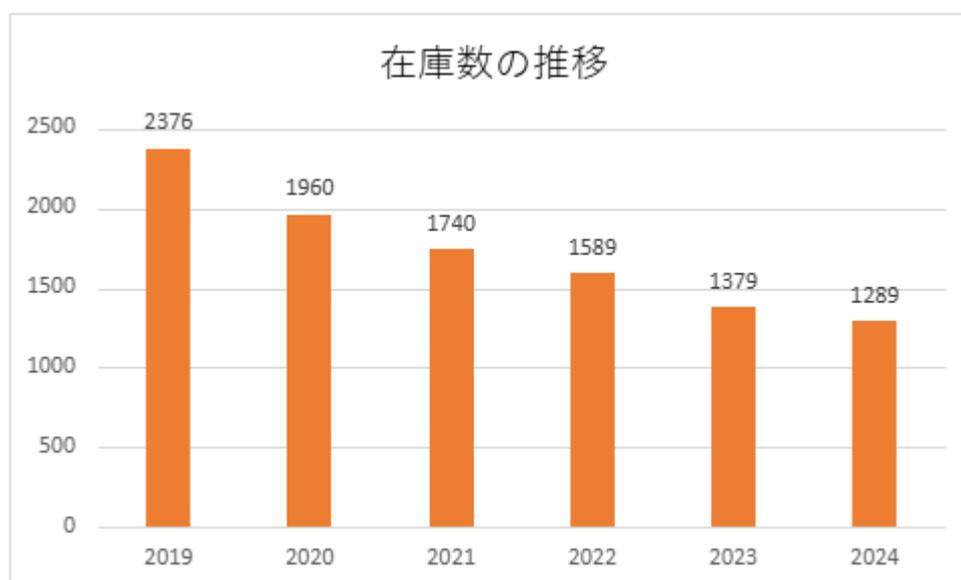
【製品別売上個数】

売上個数の実績は下記の通りである。一番多く売れたのは昨年度と同じ動物ストラップで、その他上位もキーホルダーなど低価格のアイテムが目立つ。学校やイベント販売の委託に支えられているためである。昨年度多かったビーズのアクセサリは、ほぼ在庫がなくなっているせいもあり、売り上げ個数は少なくなっている。



【在庫状況】

2019年度末は2,376点であったが、2024年度末で1,289点と、6年間で約45%減らすことができた。ただ、中には製品は長期にわたってあまり動かない製品もあり対策を検討する必要がある。



【教育機関とのつながり】

神戸常盤女子高校

2023年度から授業で中期的にフェアトレードを取り上げていただいた。こちらからレクチャーするだけでなく、校内、校外でのイベントで生徒の方々が計4回販売し、その経験をまとめてAWEPにフィードバックの機会を作っていただいた。

イベント時に製品を仕入れて販売するだけでなく、事前と事後の学習に加え、対話的なフィードバックがあり、売り上げにどれだけ協力していただいたかの一義的な尺度を超えて、フェアトレードをとらえることができた。

2 国内事業

相談対応、情報提供などこれまで継続してきた事業だが、より伝わりやすいツールを活用して相談に対応した。

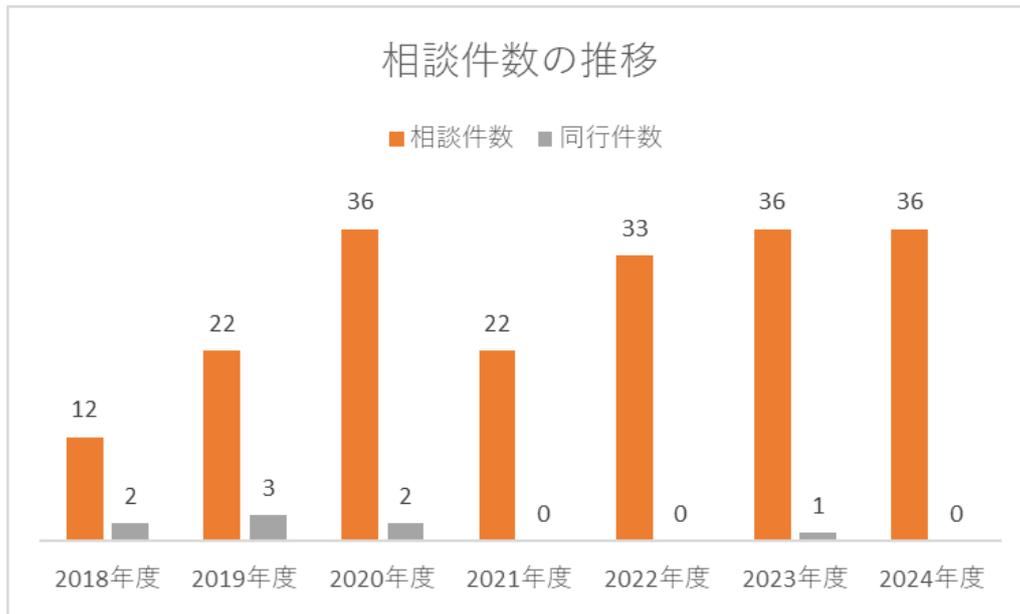
(1) 日本に住む外国人女性の生活相談や情報提供を通じた生活支援

① 生活相談事業

通常の相談日に加え、気軽に集い話せる場として月に1回「おしゃべりのつどい」を開催し相談があれば対応した。相談内容に応じ、情報提供・N G O神戸外国人救援ネットをはじめとした関連団体への紹介・面談同行といった対応をした。

【相談件数】 36 ケース * 新規受理件数

のべ対応件数：45件（回数）



相談者の国籍：フィリピン、ペルー、ベトナム、タイ、日本

【相談内容・傾向】

- ・ 在留資格、帰化申請、職場の人間関係（パワハラ）、DV、行政手続き
- ・ メンタルヘルスに関する悩みを耳にすることが増えたため、フィリピンコミュニティのマサヤンタハナとの共催で、メンタルヘルスセミナーを2回開催した。今後も継続的に取り組む予定である。

② 情報提供事業

これまで同様にメールによる発信、インターネットラジオでの番組配信、Facebook ページへの投稿、LINE での情報発信を定期的に行った。

【あんしんつうしん】

●メール

発信内容の情報を収集・選択し、やさしい日本語に直し、英語に翻訳をして、メールで発信した。外国語による生活相談・法律相談、イベント・暮らしの情報、行政からのお知らせなど様々な内容を発信した。

発信回数：10回（No.368～377）

内容：

No.368（2024.06.04）マイナンバーカードの更新

No.369（2024.06.17）新しいデザインのお札発行

No.370（2024.07.03）夜間中学校のお知らせ

No.371（2024.08.26）日本語講座のお知らせ

- No.372 (2024.09.11) 次年度保育所の申込のお知らせ
- No.373 (2024.10.01) 市バスの料金改定のお知らせ
- No.374 (2024.10.16) 多文化交流フェスティバルのお知らせ
- No.375 (2025.01.08) 1.17 震災のつどいのお知らせ
- No.376 (2025.01.21) 離婚相談ホットラインのお知らせ
- No.377 (2025.02.05) 入管手続き料金の改定のお知らせ

●インターネットラジオ

FM わいわいの協力のもと月 1 回ペースで収録を行い、YouTube で配信。
日本語とタガログ語で当事者の生の声を届けた。

配信回数：12 回（12 回収録）

内容：

- 2024 年 4 月 ゴールデンウィーク
- 2024 年 5 月 スマホの契約トラブル
- 2024 年 6 月 新札発行について
- 2024 年 7 月 台湾・フィリピンの暑い日の過ごし方/熱中症
- 2024 年 8 月 インターンの紹介
- 2024 年 9 月 防災（暴風雨について）
- 2024 年 10 月 女性に対する暴力をなくす運動
- 2024 年 11 月 日本の年末年始
- 2024 年 12 月 阪神淡路大震災
- 2025 年 1 月 確定申告
- 2025 年 2 月 年金の脱退一時金
- 2025 年 3 月 引っ越し



2025年3月1日「AWEPあんしんつうしん」脱退一時金（だったいいちじきん）Lump-sum Withdrawal Payments



YouTube リンク <https://tcc117.jp/fmyy/category/program-info/tips-info-from-awep/>

● Facebook ページ「あんしんつうしん」への投稿

おしゃべりのつどいなどイベント情報を中心に、生活情報全般の情報を発信した。

発信回数：116 回 登録者：123 名

● LINE

2022 年 10 月末にアカウント開設。毎週月曜日を中心に、やさしい日本語、英語、タガログ語で配信。引き続き「友だち」（受信者）を増やすことが課題。

発信回数：50 回 受信者数：53 人

内容：イベント・相談会・食料配布会等のお知らせ、保育園・学校の手続きなど。

ラインアカウントリンク：<https://lin.ee/hryPFqP>

【「外国人女性のための役だつインフォメーション」2024 年改訂版タガログ語版の発行】

昨年度 6 年ぶりに改訂・発行した生活ガイドブックのタガログ語版を発行した。日本に暮らす外国人女性に役立つガイドブックとして、やさしい日本語とタガログ語でさまざまな情報を掲載。今後、当事者・支援者に配布し、活用してもらう。

(2) 共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

① 他団体との関係強化

● マサヤンタハナン

- ・ 月に 1 回、マサヤンタハナンに専門相談員として鋤柄理事を派遣し、同団体の相談体制をサポートした。

● 特定非営利活動法人 NGO 神戸外国人救援ネット

- ・ 運営委員として鋤柄理事が毎月第 2 月曜日の運営委員会及び総会・理事会に出席し、運営、事業に参画した。

● ひょうご DV 被害者支援連絡会 (HYVIS)

- ・ 2024 年度も鋤柄理事が HYVIS 代表を務めた。
- ・ 兵庫県内の被害者支援団体との定例会議（偶数月に合計 6 回）のほか、神戸市、兵庫県の DV 被害者支援担当者との懇談を行った。（定例会議以外の内容は下記の通り）
- ・ 10 月 20 日公開講座「こころとからだの休日～アートセラピー & ボディワーク」（講師：高濱浩子さん・栗岡多恵子さん）神戸市委託事業
- ・ 2 月 9 日公開講座「どうなる?? 共同親権を学び、支援について考える」（講師：鄭 聖愛さん）兵庫県委託事業

● 移住者と連帯する全国ネットワーク

- ・ 6月8日、9日 全国ワークショップ2024 in 大阪 に奈良、鋤柄理事が出席。
- ・ 女性プロジェクトチームに参画、定例会に参加するとともに、企画立案等に関わった。

●たかとりコミュニティセンター

- ・ 理事として奈良理事が運営に参画。地域の他の団体のネットワークを形成し、地域の課題について協議した。
- ・ 月2回の連絡会に参加し、団体の運営や地域の課題について情報交換などを行った。

② 勉強会、セミナーの実施

●おしゃべりのつどい

気軽に集える場を提供することで相談しやすい環境を作り孤立を防ぐことを目的とし、月に1回開催。中央共同募金会の助成金を活用し、クッキング企画や防災グッズ・非常食の提供も行った。

内容：

第1回（2024年4月27日）子育て講座（講師：村田朝子、谷口美佳）10人（オンライン2人）

第2回（2024年5月25日）フリートーク 3人

第3回（2024年6月29日）七夕 9人

第4回（2024年7月27日）日本語学習のコツ（講師：納庄仁美） 15人

第5回（2024年8月24日）フィリピンカフェ 10人

第6回（2024年9月28日）日本のお弁当を作ろう（講師：枝澤育子）9人

第7回（2024年10月26日）フリートーク 1人

第8回（2024年11月30日）日本のお正月の過ごし方

第9回（2025年1月25日）防災（グッズ・非常食の紹介・試食）13人

第10回（2025年2月22日）フリートーク 5人

第11回（2025年3月22日）セルフマッサージ（講師：工藤真紀）6人



6月七夕の回



9月お弁当の回

③講師派遣・視察訪問などの受け入れ

●講師派遣：6件（昨年度6件）

- ・ 6/11 梶山女学園大学
- ・ 6/13 神戸市シルバーカレッジ
- ・ 7/29 神戸国際コミュニティセンター ワークショップ
- ・ 8/11 たかとり教会平和の集会
- ・ 10/12 三田市生涯学習カレッジ
- ・ 3/9 コープこうべ虹っこスクール

●視察等：0件（昨年度4件）

視察の受け入れはなかった。

- インターン受け入れ：5件（昨年度5件）
 - ・ 6/21、11/6 神戸常盤女子高校 5名
 - ・ 7/1～8/23 台湾・国立中山大學大学院 1名
 - ・ 7/17 関西国際大学学生 5名
 - ・ 7/24,31 大手前大学学生 10名
 - ・ 10/26,11/18,11/30 京都外国語大学学生 3名

④ 連携事業

「外国人保護者向け生活ガイダンス」

神戸市地域連携協働局からの委託を受けて、「初期日本語拠点教室」における外国人保護者等を対象とした支援業務を実施した。同事業は、神戸市および神戸市教育委員会と AWEP の連携により行った。教育委員会が新しく来日した外国人児童・生徒を対象に、2週間集中的に日本語教育を行い、AWEP はその時間を活用して保護者を対象に、生活に役立つ情報を提供した。

3 組織運営全般

(1) 広報

① AWEP 説明会

2024 年度は、5 名の方に説明会を実施した。中国出身の学生の方には、神戸市の委託事業で通訳の手伝いなど、語学力を生かした活動をしていただいた。

4/27	2 名（神戸大学大学院）
7/3	1 名（関西学院大学）
9/25	1 名（社会人）
11/18	1 名（神戸大学大学院）

② ニュースレター

7 月に 60 号を 12 月に 61 号をそれぞれ 300 部発行し、支援者や関係機関に送付したり、講演会などで配布したりした。またニュースレターを PDF にし、ウェブサイトに掲載した。

メールニュース（AWEP 通信）は原則毎月発信、生産者の情報、ボランティア活動情報などを会員や支援者に発信した。

郵送対象をより絞り込み、郵送料の上昇により経費の抑制に努めた。

③ ネット広報

ソーシャルメディアでは、Facebook のフォロワー 1,245 名（あんしんつうしんページは 123 名）Instagram 219 名 X 742 名（あんしんつうしんアカウントは 8 名）。神戸市の委託事業の影響もあり、LINE は受信者が増えた。（56 名）

リンクは下記の通り。

Facebook <https://www.facebook.com/awepkobe>

	https://www.facebook.com/profile.php?id=100075638005156
Instagram	https://www.instagram.com/fairtrade_awep/
X	https://twitter.com/awep https://twitter.com/awep_tcc
LINE	https://lin.ee/bM47Gps

(2) 交流活動

公開の交流会は、30周年記念ミーティングの1回。その他、ボランティアやスタッフ間の内部での食事会を数回実施し懇親を深めた。

(3) 助成金採択の実績

助成金名	事業名	助成金額	内容
公益信託神戸まちづくり六甲アイランド基金	在住外国人女性に向けた情報発信・相談活動及びメンタルヘルス支援	50万円	相談事業、あんしん通信事業、メンタルヘルス講座、ガイドブック
中央共同募金会「第4回外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」(2023年9月～2024年10月)	地域に暮らす外国にルーツがある女性のための相談・情報発信事業	575,728円 (2024年度分 決定金額102万円)	相談事業、あんしん通信事業、おしゃべりのつどい、マサヤンタハナのエンパワメント
中央共同募金会「第5回外国にルーツがある人々への支援活動応援助成」(2024年10月～2025年9月)	地域に暮らす外国にルーツがある女性のための相談・情報発信事業	決定金額215万 (内107万円が 2024年度分)	相談事業、あんしん通信事業、おしゃべりのつどい、マサヤンタハナのエンパワメント

(4) 長期インターンの受け入れ

2024年7月6日から9月4日の約8週間台湾の国立中山大学大学院生の梁麗蕙(リリーさん)をインターンとして受け入れた。昨年度のインターンリリーさんの報告書を読み、AWEPに関心を持ち、インターンをしたいと希望された。ソーシャルワーカーとしての実務経験もあり、また日本語にも堪能だったリリーさん、どんな活動にも丁寧に取り組み、即戦力として活躍してくださった。11月17日の30周年記念ミーティングにも台湾から参加し、交流した。

*以下の感想文はAWEPSTYLE61号に掲載したものの再掲

「人に会うことは不思議ですね。AWEPに来てくれてありがとうございました！この2ヶ月の間に、たくさんの人に出会い、さまざまな経験をしました。神戸と長田の歴史を学び、TCCのみんなの仕事も少し知

りました。他の NGO も見学して、もっとフェアトレードのことを知り、アジアの女性と日本の女性の生活についても学びました。そして、たくさんの素敵な人たち、特に日本や海外の女性たちに会って話しました。

みんなの力は優しくても強くて、神戸の山と海のように、多様な文化を生み出し、包み込み、守っています。良いことは森のように抱きしめ、悪いことは波のように流して、大切な人たちのために愛する場所やコミュニティ、居場所を作り、それぞれが自分らしい生活を送ることができる。それは本当に素晴らしいと思いますし、尊敬します。本当に、AWEP に来て良かったです！ここに来てくれて、ありがとうございます！皆さんに山のように見まわられて、海のように見守られて、本当にありがとうございました！

私もその力をいただいて、何かを作りたいと思います。皆さんのおかげで、元気に台湾に帰れます。本当にお世話になりました！ありがとうございました！台湾に遊びに来てくださいね！」(リリー)



Ⅲ 活動の実施体制

1 意思決定と実務の体制

項目	内容
会議	① 通常総会 2023年6月1日(土) ② 理事会 2024年9月30日(木)、2025年3月3日(月)
事務局の体制	<p><スタッフ> (敬称略)</p> <p>① 事務局長(総務・財務) : 鋤柄利佳</p> <p>② 全体統括・海外事業 : 奈良雅美</p> <p>③ 国内事業 : 鋤柄利佳、野田ジーン</p> <p><ボランティア> (五十音順、敬称略)</p> <p>井之上章子、岩谷優里、于晶、オウシセン (WangZixuan)、土居夕真、チエイ ス洋子、中井美香、畢雅然、宮越ジョアン、宮本由幾、羅雨欣</p> <p>* ボランティア活動時間合計 : 延べ 72.25 時間 (在宅活動除く)</p>

2 支援者のみなさま

	お名前 (五十音順、敬称略)
運営会員 (17名) *内 1名の方は匿名	縣晶子 朝倉克己 いなだ多恵子 武田丈 谷口麻希 岡内克江 太田和 宏 鹿嶋節子 定藤繁樹 鋤柄利佳 高木健作 仲尾育哉 奈良雅美 西脇鈴代 もりきかずみ 吉野太郎
賛助会員 (43名) *内 3名の方は匿名	梅澤昌子 エスパー口能勢 王貴美子 大下富佐江 大森恵実 岡埜ゆかり 木村淳子 坂本陽子 佐渡いづみ 清水晴美 下村知子 鈴木迪子 高木 澄子 高月渚 高原幸子 太治和美 谷口幸子 チェイス洋子 特定非営利活動法人すまみらい 中川加代子 中嶋悦子 中嶋秀昭 中野由貴 中森俊久 西海ゆう子 長谷川美代子 服部尚美 ビーンズ・アクト 飛田雄一 日比野純一 藤井智子 藤川真澄 藤田ふみ子 三谷順子 宮本由幾 三好宣子 六車武 モニカ ヘレン マカラエグ カヒログ 山本裕子 Wu I-Ni
役員	理事 : 谷口麻希 太田和宏 香取千晴 定藤繁樹 鋤柄利佳 野田ジーン 奈良雅美 監事 : いなだ多恵子 仲尾育哉

2025年3月31日時点